

マラウイ月報（2023年11月）

【内政】

1. 「チャクウェラ大統領、経済救済策を発表」（16日付ネイション紙）

チャクウェラ大統領は財政政策に関する演説を行い、来年3月末までの自身を含む内閣及び公務員の外遊を禁止する等の緊縮財政政策を発表。

【外交】

1. 「チャクウェラ大統領、サウジ・アフリカサミットで平和を語る」（12日付ネイション紙）

チャクウェラ大統領は、第1回サウジ・アフリカサミットにおいてスピーチを行い、サウジアラビアの、国際平和と地域の安全維持への貢献を称賛した。

2. 「チャクウェラ大統領、マンゴチーマカンジラ道路を称賛」（13日付タイムズ紙）

チャクウェラ大統領は、マンゴチーマカンジラ道路のプロジェクトに関するMoU署名式に出席した。アルマルシャド・サウジ開発基金CEOは、マンゴチーマカンジラ道路の開通に向けて、サウジアラビアは2000万米ドルを確保していると発表した。

【経済】

1. 「国营石油公社（NOCMA）、燃料貯蔵量倍増へ」（2日付タイムズ紙）

NOCMAは、2025年までに戦略的燃料備蓄（SFR）の容量を2倍の1億2,000万リットルにする計画を発表した。

2. 「市中銀行、政府債務をほぼ独占」（3日付タイムズ紙）

市中銀行からの借入れが依然としてマラウイ政府の債務の大部分を占めている。最近の数字によると、債務額はおよそ2兆クワチャである。

3. 「マラウイ、近隣諸国との貿易強化へ」（3日付タイムズ紙）

マラウイは、世銀が支援する1億5,000万米ドル規模の「南部アフリカ貿易・連結性プロジェクト」の下、モザンビークとザンビアとの貿易及び投資強化に向けて連携を始める。

4. 「対米国輸出、前年比6.5%増の1,694万米ドルに」（3日付タイムズ紙）

マラウイは、2000年のアフリカ成長機会法（AGOA）開始以来、米国に15.5億米ドル相当の商品を輸出しており、うち11.5億ドルがAGOA優遇措置の対象である。

5. 「マラウイ・モザンビーク間の航空サービス促進へ」（3日付ネイション紙）

マラウイとモザンビークは、二国間航空サービス協定に調印した。この協定により、両国からのフライトは、要件を満たしている限り制限なく互いの領土に着陸することが可能になる。

6. 「マラウイ、EUから1億1,600万ユーロの融資を受ける」(6日タイムズ紙)

チチョラ財務・経済大臣は3日、EUと総額1億1,600万ユーロの融資契約に署名した。スキンバツハEU大使によると、このパッケージは、経済改革と社会保護の2つの側面に焦点を当てている。

7. 「クワチャ、大幅切り下げ」(9日付タイムズ紙)

マラウイ中央銀行(RBM)は8日、市中銀行における対米ドル交換レートを1,180.29クワチャから1,700クワチャに変更すると発表した。

8. 「フランダース政府、二次都市に2,500万ユーロを拠出」(9日付ネイション紙)

フランダース政府は、様々なプロジェクトを通じてマラウイ国内の二次都市開発を促進するため、2,500万ユーロを拠出した。

9. 「Bakhresa、食用油精製工場に1億米ドルを投資」(15日付ネイション紙)

タンザニアのダルエスサラームに本社を置くBakhresaグループの子会社Bakhresa Malawi Limitedは、1日当たり500トンの大豆を加工し、500人の雇用を創出する食用油精製工場に1億ドルを投資したと発表した。

10. 「マラウイ、IMFによる支援を獲得」(16日付タイムズ紙、ネイション紙)

IMF理事会はマラウイに対し、48か月間の1億7,500万米ドル相当の拡大信用ファシリティ(ECF)を承認した。

11. 「世銀、6,000万米ドルの輸入ファシリティを承認」(22日付タイムズ紙、ネイション紙)

20日、世銀理事会は、肥料や医薬品を輸入するための臨時融資として、マラウイの市中銀行が国際開発委員会(IDA)からの輸入支援ファシリティを利用できるよう、6,000万米ドルの融資を承認した。

12. 「韓国が大洋ルーク病院に50万米ドルを寄付」(23日付ネイション紙)

韓国は、大洋ルーク病院に50万米ドル相当の救急車及びデジタルX線装置、人工呼吸器などの医療機器を寄贈した。

13. 「イスラエル、労働輸出協定について語る」(29日付ネイション紙)

ロテム駐ケニア・イスラエル大使(マラウイ兼轄)は、マラウイ人と複数のイスラエル企業との間で、それぞれの政府を通じて結ばれた本労働輸出契約は、マラウイ国民が喜ぶべきウィンウィンの状況である、イスラエルへの労働力輸出は以前から外交的に議論されてきたが、今回はその必要性が大きく、急を要していると述べた。

14. 「安価投入資材プログラム（A I P）、期限守れず」（30日付タイムズ紙、ネイション紙）

カワレ農業大臣は、チャクウェラ大統領から与えられた今期A I Pの完了期限（40日間）を守ることができないと述べ、外貨不足のためマラウイ中央銀行（RBM）によるサプライヤーへの支払いが滞っていること、クワチャ切り下げが商品の価格設定に影響を及ぼしていることが遅延の原因であると述べた。

記事の内容にご質問のある方は、当館までお問い合わせください。

代表電話：+265 885 302 222

Email：embmalawi@lw.mofa.go.jp